

## 格付け

格付けは「A -」(シングルAマイナス)

格付けは、企業が発行する債券などの元金および利息の支払いが、約定どおり履行される確実性の度合いを公正な第三者である格付機関が評価し、その結果を記号で表したものです。当行は、日本格付研究所の格付け<sup>(注)</sup>を取得しており、20ランク中上位から7番目となる「A -」(シングルAマイナス)の良好な評価を得ています。

### 格付けの定義

長期債券格付記号

格付け	定義
AAA	債務履行の確実性が最も高い。
AA(+/-)	債務履行の確実性は非常に高い。
<b>A(+/-)</b>	<b>債務履行の確実性は高い。</b>
BBB(+/-)	債務履行の確実性は認められるが、上位等級に比べて、将来、債務履行の確実性が低下する可能性がある。
BB(+/-)	債務履行に当面問題はないが、将来まで確実であるとは言えない。
B(+/-)	債務履行の確実性に乏しく、懸念される要素がある。
CCC	現在においても不安な要素があり、債務不履行に陥る危険性がある。
CC	債務不履行に陥る危険性が高い。
C	債務不履行に陥る危険性が極めて高い。
D	債務不履行に陥っている。

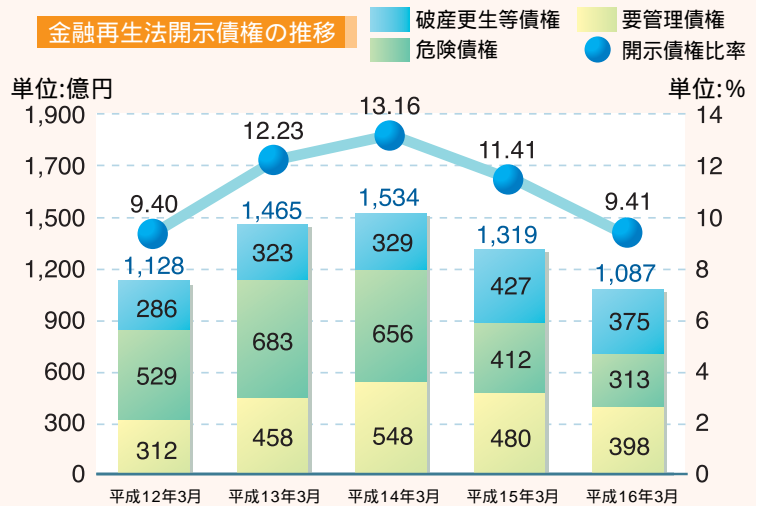
(注) 格付けは、「AAA」から「D」までの10段階です。「AA」から「B」までの格付けには、同一等級内での相対的評価として、(+)(-)の符号による区分があります。その符号も含めてランク付けした場合、格付けは20ランクに区分されます。

## 開示債権

開示額、開示債権比率とも大幅改善

金融再生法に基づく開示債権額は、今期新設した経営改善支援チームを中心に、お取引先の経営改善支援の取り組みを強化したことなどから、前期比231億円減少し1,087億円となりました。開示債権比率も前期比2ポイント低下の9.41%となり、大幅に改善しました。

### 金融再生法開示債権の推移



## 平成16年度業績予想

当期利益57億円を予想

平成16年度の業績については、引き続き、融資の拡大やプライシングの徹底、預かり資産の増強、経営の効率化などに努め、57億円の当期純利益を予想しています。また、普通株式の配当は年間40円を予定しています。当行は、今後とも金融環境に配慮しつつ内部留保を高め、公的資金の早期返済にめど付けするとともに、安定した配当を目指してまいります。

### 平成16年度業績予想

	16年度予想	15年度実績	増減額
経常収益	401億円	416億円	15億円
経常利益	86億円	70億円	16億円
当期純利益	57億円	43億円	14億円